

能代農機センター長 2部門で最優秀賞

～農機パワーアップ運動成果発表～



斉藤 諒 さん
(能代農機センター)

☆県本部表彰

【製品成約受注部門】

敢闘賞U-40

☆メーカー表彰

【ヤンマー賞】

敢闘賞

J A全農あきた主催のJ A農業機械パワーアップ運動で、優秀な成績を収めた農機職員の成果が発表されました。運動は組合員との絆を深めるため農家訪問活動を積極的に展開し、出向く体制を強化し優れた成績を収めた農機担当者を表彰しております。当J Aからは能代農機センターの木村センター長が2つの部門で最優秀賞を獲得したほか、同センターの斉藤諒さんと鈴木清也さんも各メーカー賞などを受賞。J Aあきた白神としても県本部表彰で最優秀賞を受賞しました。山谷農業機械課長は「組合員の皆様のご要望に応えようと、頑張ってきた結果が、今回の数々の受賞に繋がったものだと思います。これからも皆様の期待に応えられるよう努力してまいります」と抱負を語ってくれました。



木村 範夫 センター長
(能代農機センター)

☆全県本部表彰

【統一展示会製品予約受注部門】

最優秀賞

【製品成約受注部門】

敢闘賞フル

【共同購入トラクター三カ年個人賞】

最優秀賞

☆メーカー表彰

【クボタ賞】

敢闘賞



鈴木 清也 さん
(能代農機センター)

☆メーカー表彰

【山本製作所賞】

優秀賞

☆全県本部表彰

【統一展示会製品予約受注J A部門】

最優秀賞

【共同購入トラクター計画達成JA賞】



山谷 斉 農業機械課長
(農業機械課)

年金の疑問解決 ～無料年金相談会実施～

年金受給予定者を対象とした「年金無料相談会」が2月25日開催され、14名が相談会に来訪されました。相談会では年金の専門家である社会保険労務士2名が個別に相談に応じ、年金制度や年金の仕組みから具体的な手続きなどについて、分かりやすくアドバイスしました。職業や勤続年数などで受給できる年金はそれぞれ違い、たびたび制度改正されることもあり、相談に訪れた来場者は「丁寧に相談に応じてくれて助かった」と喜んでおりました。



社会保険労務士から説明を受ける相談者



各標題について熱心に聴講する参加者

農閑期に知識アップ ～冬期野菜栽培講習会実施～

J Aあきた白神などが主催の冬期野菜栽培講習会が2月7日・8日に開催され、参加者は「白神ねぎ」などの生育状況や白神管内で栽培されている品種の特性などを学びました。同講習会は農閑期を利用して、農家の野菜栽培知識向上を図りながら農家所得の増大を目的に開催しており、初日は約100名の農家や農業法人が参集し「白神ねぎ」や「野菜全般」について講習を受けました。このうち、(株)サカタのタネは同J A管内で栽培されている「白神ねぎ」の品種の特性について説明。昨年8月以降、高温・乾燥が続くネギの生育が進まなかった状況を振り返りながら、根が張りやすい圃場準備や高冷涼地におけるネギ育苗のポイントなどについて説明しました。参加者は改めて栽培管理のポイントなどをメモにとりながら熱心に聴講し、それぞれの営農の参考にしました。



農家の軽トラックに種もみを積み込む職員

2024年“米”スタート ～水稻種もみ配布開始～

2024年の本格的な水稻作業に向けて、水稻種もみの配布がドライブスルー方式で能代集約農業倉庫を会場に、2月19日より開催されました。経済課TAC職員らが事前に予約注文を受けた「あきたこまち」や「ひとめぼれ」などの種もみを、稲作農家が乗り入れた軽トラック等の荷台に注文を確認しながら積み込んでおりました。J A管内では例年4月中旬頃から「あきた白神米」の播種作業が各地で始まり、春作業が本格化してまいります。

合唱や体操で元気に ～藤琴地区でミニデイ～

藤里支店は2月21日、藤琴地区の住民を対象としたミニデイサービスを行いました。支点を拠点とした協同活動の一環として毎年行っているもので、今年は28名が参加。助け合い組織「たんぼほ会」の藤田ミヤ子さんらの指導のもと合唱や体操、ゲームなどの運動、チラシを使ったごみ箱作りなどを行い、高齢者の介護予防や体力づくりを行いました。参加者は座って出来る簡単な体操や懐かしい童謡に合わせたの歌遊びに笑顔を見せておりました。



健康体操に励む参加者





東北地区の表彰者による記念撮影（中央・工藤組合長）

園芸拡大へキックオフ

～令和5年度優秀生産者表彰

山谷さん・島さん2名

県北最優秀賞に

あきた園芸戦略対策協議会と全農あきた主催の、園芸事業キックオフ大会が2月20日開催され、各地区協議会の優秀生産者が表彰されました。当JAからは促成アスパラガス部門から山谷清英さんが、ねぎ部門から島知範さんが最優秀賞を受賞しました。大会は園芸品目の生産拡大と販売強化を図り、園芸産地基盤の強化に取り組みうと開催されているもので、生産者ら約200名が参加。令和6年度は生産者・JA・県・関係機関が一体となった「オール秋田」体制のもと園芸事業に取り組むことを確認しました。

表彰者は次のとおり

【枝豆部門】

優 秀 賞 佐藤 謙悦
優 秀 賞 山谷 清英

【促成アスパラガス部門】

最優秀賞 山谷 清英
優 秀 賞 池端 伸吾

奨励賞 工藤 寿
奨励賞 大高 百合

【ねぎ部門】

最優秀賞 島 知範
優 秀 賞 (株)あさかわファーム



ねぎ部門最優秀賞の島さん



促成アスパラガス部門最優秀賞の山谷さん



女性部の活動に期待を込め挨拶する工藤組合長



大正琴で祝新年の曲を披露



年間の活動写真や絵手紙を会場内に展示



会場内で募金活動に協力する部員の皆さん



今日より明日はもっと元気! 「頭と体の脳トレ」で手拍子をする女性部員

女性部活動で地域づくりへ

～女性部大会・家の光大会～

女性部（佐藤静子部長）主催の女性部大会・家の光大会が2月9日、女性部員など約130名が参加して開催。テーマに◇JAへの運営参画と魅力ある活動で仲間づくりをすすめるよう◇食と農を基軸とした活動を通じて地域を元気にしよう◇読もう活かそう「家の光」一を掲げ、更なる地域づくりを申し合わせました。大会では能代市民ミュージカル実行委員長の今立善子氏の講演や、大正琴の演奏など様々な催しが行われるなど大いに盛り上がりを見せました。また、能登半島地震の被災地支援のための募金活動も行われ、35,849円の支援がありました。ご協力ありがとうございました。



能代白神ねぎ物語～めざせ20億円～のミュージカルを振り返って講演する今立氏



大にざわいだったAコープ商品の販売

チラシで便利グッズ ～手づくりごみ箱提供～

助け合い組織・たんぼぼ会（佐藤チヨ会長）は管内の各施設へのボランティア活動の一環で、「チラシ・ごみ箱作り」に取り組まれました。2月21日には藤夢地区で行われたミニディで手指の運動がてらに、参加者にごみ箱作りを指導。「折り方が複雑なので、良い脳トレニングにもつながる」と参加者には好評でした。出来上がったチラシによるごみ箱は50個。藤里町社会福祉協議会を通じてディサービス利用者へ提供され、喜ばれておりました。



藤里町社会福祉協議会へチラシ・ごみ箱を提供

手づくり雑巾 ～ニツ井小学校へ寄贈～

女性部ニツ井支部は2月16日、ニツ井小学校を訪れ、家庭で不要になったタオルで手作りした雑巾190枚を寄贈しました。また、同じく支部員が集めたエコキャップ18ヶも一緒に寄贈しました。地域貢献活動の一環として行っているもので、贈呈式では保健委員会の石岡花菜さんと佐藤美月さんが代表で受取り、「掃除に大切にしたい」と感謝しておりました。女性部では今後とも地域に役立つ活動を継続していくこととしております。



手づくり雑巾やエコキャップを寄贈